

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【公開番号】特開2009-228857(P2009-228857A)

【公開日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-040

【出願番号】特願2008-77523(P2008-77523)

【国際特許分類】

F 16 C 33/41 (2006.01)

F 16 C 19/06 (2006.01)

【F I】

F 16 C 33/41

F 16 C 19/06

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月30日(2011.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

玉軸受の複数の玉を転動自在に保持すべく軸方向の一方側に開口しているポケットが周方向に複数形成された冠型保持器であって、

前記複数のポケットの内の少なくとも一つのポケットの前記開口端は、他のポケットの前記開口端と前記軸方向についての位置が異なっており、

前記一つのポケットの内壁面は、前記軸方向に異なる二点をそれぞれ中心として球面に形成された底部側の第一球面部及び開口端側の第二球面部と、これら球面部間に軸方向に伸びて介在している中間部とを有していることを特徴とする冠型保持器。

【請求項2】

前記複数のポケットは、前記開口端の軸方向の位置について、周方向で交互に異なっている請求項1に記載の冠型保持器。

【請求項3】

前記一つのポケットの開口端の間の寸法と、前記他のポケットの開口端の間の寸法とは同じである請求項1又は2に記載の冠型保持器。

【請求項4】

外輪と、内輪と、前記外輪に形成された外軌道面及び前記内輪に形成された内軌道面を転動する複数の玉と、請求項1～3のいずれか一項に記載の冠型保持器とを備えたことを特徴とする玉軸受。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

前記目的を達成するための本発明の冠型保持器は、玉軸受の複数の玉を転動自在に保持すべく軸方向の一方側に開口しているポケットが周方向に複数形成された冠型保持器であ

って、前記複数のポケットの内の少なくとも一つのポケットの前記開口端は、他のポケットの前記開口端と前記軸方向についての位置が異なっており、前記一つのポケットの内壁面は、前記軸方向に異なる二点をそれぞれ中心として球面に形成された底部側の第一球面部及び開口端側の第二球面部と、これら球面部間に軸方向に伸びて介在している中間部とを有している。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、前記一つのポケットの内壁面は、前記軸方向に異なる二点をそれぞれ中心として球面に形成された底部側の第一球面部及び開口端側の第二球面部と、これら球面部間に軸方向に伸びて介在している中間部とを有しているので、中間部によって、前記一つのポケットの開口端を他のポケットの開口端よりも、軸方向の一方側へずらした位置となる構成を、簡単に得ることができる。